【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年5月18日(2022.5.18)

【公開番号】特開2021-74552(P2021-74552A)
【公開日】令和3年5月20日(2021.5.20)
【年通号数】公開・登録公報2021-023
【出願番号】特願2020-196374(P2020-196374)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｈ　1/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｈ　1/02　　Ｒ

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月6日(2022.4.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
長棒状のポールの上端にグリップ部を設け、前記ポールの下端にアブミ部を設けたことを特徴とする歩行訓練器具であり、前記アブミ部が、アブミ部の外側の端部と前記ポールとの連結部を有することを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項２】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記アブミ部が、アブミ部と前記ポールの連結部が弾性変形可能な構造であることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項３】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記グリップ部が、前方向に湾曲した形状を有することを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項４】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記グリップ部が、弾性変形可能な構造であることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項５】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記ポールが、弾性部材で構成された円筒形のパイプであることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項６】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記アブミ部が、足、および、靴の、甲、側面、底面を帯状に被覆する部分が、前記ポールと連結する部分より柔らかい材料で構成されていることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項７】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記アブミ部が、足、および、靴を置く部分と、前記ポールと連結する部分が、弾性変形可能な材料を用いて、一体で構成されていることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項８】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記アブミ部分の、足、および、靴を載置する部分が弾性変形可能で、前記部分と足、または、靴を帯状に被覆する部分によって足を保持できる構造であることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項９】

請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記アブミ部分の、足、および、靴を置く部分の裏面に帯状の溝が形成されていることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項１０】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記グリップ部が、前記ポールの軸のまわりに左右に回転できる構造であることを特徴とする歩行訓練器具。
【請求項１１】
請求項１に記載の歩行訓練器具において、前記グリップ部が、前記ポールの向きに対して回転軸を自在に変えることができる構造であることを特徴とする歩行訓練器具。